

防衛問題セミナー

津波被害の特性と大規模災害への備え

平成25年2月13日(水)に苫小牧市文化会館において、防衛問題セミナーを苫小牧市との共催により開催し、388名の方々に来場していただきました。

今回のセミナーは、災害対処に係る防衛省・自衛隊の役割について理解を深めていただくとともに、一昨年(2011年)の東日本大震災を契機として見直しが始まっている地域防災計画の参考としていただくことを目的にテーマを選定しました。

はじめに、防衛大学校システム工学群建設環境工学科 藤間功司 教授から「津波被害の特性」と題して、津波の発生や伝播のメカニズム、東日本大震災において発生した津波の状況、津波防災のあり方などについて、学術的内容をかみ砕いて講演していただきました。

次に、陸上自衛隊北部方面総監部幕僚副長 川崎朗 陸将補から「大規模災害への備え」と題して、東日本大震災時に副師団長として指揮をとっていた第9師団の活動状況、災害対処の経験を踏まえた災害への心がけや準備など、市民の方々や自治体職員に対し、分かりやすく講演していただきました。

会場の様子



島川正樹北海道防衛局長の挨拶



岩倉博文苫小牧市長のご挨拶



熱心に聞き入る来場者の皆さん

防衛大学校
藤間功司教授
による講演



北部方面総監部
川崎朗陸将補
による講演

